

つなみそうていひなんくんれん さんか
津波想定避難訓練にご参加いただきありがとうございますございました。

★★★ 実際に地震が起こったら（本日の訓練とは異なる点）

○地震発生直後に多くの職員が地域へ駆けつけることは困難です…

津波から自分の生命を守るためには、ご自身で判断し、避難しなければなりません。長い揺れ（地震）を感じたら津波を警戒し、自ら避難を開始することも必要です。

また、誰かと待ち合わせたりすることも、時には時間がかかってしまい危険な場合があります。各自バラバラに逃げることを想定し、日頃からご家族等と避難先について話し合っておきましょう。

○津波からの避難先は…

津波からの避難は、「より早く」「より高く」へ！！

芦屋市では、国道43号を超えると北へ向かうほど標高は高くなります。

遠くへの避難が困難な場合の緊急避難先として津波避難ビルを指定していますが、固定観念にとらわれず、より高い場所への避難を心がけましょう。

○緊急時、防災行政無線だけでは、（特に室内では）情報を十分聞き取れません…

地震の揺れを感じたら、防災行政無線のサイレンだけでなく、ご自身でもテレビ・ラジオ・インターネット等から災害情報を集めてください。

ぜひ、携帯電話への緊急情報を発信する「あしや防災ネット」を登録しましょう。

「あしや防災ネット」は右記のアドレスから登録できます。<http://bosai.net/ashiya/>

○津波の第一波から逃れたとしても…

津波は繰り返しやって来ます。

津波警報や避難指示が解除されるまで避難場所に留まってください。



「あしや防災ネット」QRコード

★★★ 事前の備えを

○芦屋市にも津波が来襲する可能性もあると考えましょう。

懸念されている南海地震についての被害想定では、芦屋市への津波高は約3メートルで浸水被害はほぼ無いものとされていますが、先ごろ、兵庫県から、想定を超える災害の発生に備えて暫定的に約2倍の津波高を想定した場合、芦屋市では約5メートル、また地震発生から来襲まで110分～130分との発表がありました。

事前に準備して、落ち着いて行動すれば避難は可能と考えられます。

○ご自身や地域としての事前の備えが重要です。

まず、地震の揺れから自分やご家族を守るために、ぜひ家具の固定対策をお願いします。

また、素早い避難ができるように、非常時持ち出し袋などをご準備ください。

さらに、標高マップ等から避難施設や経路などを考えておきましょう。

なお、一人での避難に不安がある方は日頃よりご近所と声を掛け合っておくことが必要です。